

(4) 海の行動計画

1) 海浜や干潟などの生き物の生息・生育環境の保全

甲子園浜や御前浜・香櫨園浜は大阪湾奥に残る数少ない自然海浜で、シギ類やチドリ類などの渡り鳥の中継地として貴重な役割を果たしているほか、絶滅が危惧される貝類や、海浜部でしか生息できない海浜植物などの貴重な動植物が数多く生息しています。一方で、潮干狩りや磯遊び、釣りなど様々な目

的で多くの人々が訪れる場所でもあります。渡り鳥が安心して栄養を補給し休息できるように一定期間の立入制限や啓発活動を行うほか、海浜植物を守るため、周囲の外来植物や雑草の除去を行うことで、貴重な動植物の生息生育環境を保全します。



◎ オオソリハシシギ



◎ 海岸に自生するハマヒルガオ

2) 自然体験及び環境学習の推進

貴重な海浜部は、大人から子供まで幅広い世代に親しまれており、地域団体やNPOが清掃活動のほか、干潟の生き物や野鳥の観察などの自然体験・環境学習活動を実施しています。こうした活動団体、NPOの活動を支援するとともに、連携して清掃活動や自然体験・環境学習を推進することで、貴重な海浜の自然環境の重要性を理解する場と機会をつくります。



◎ 干潟の生き物観察

コラム

渡り鳥と渡りのルート

日本と外国とを行き来する鳥を“渡り鳥”といいます。日本にやって来る季節から夏鳥、冬鳥、旅鳥と呼び分けます。夏鳥は夏を日本で過ごし、冬鳥は冬を日本で過ごします。春と秋を日本で過ごし、更に渡りを続けるのが旅鳥です。

カモ類は冬鳥の、シギやチドリ類は旅鳥の代表で、その多くは図のように島づたいに渡ります。

